



## 「**軽い**気持ち…」が、人生を**狂**わせる

年明け早々、全国各地で「生徒による暴力行為の動画」が交流サイト(SNS)に投稿され、瞬く間に拡散され炎上する事案が相次いでいます。報道によると、その後ネット上では、学校だけでなく、加害生徒の氏名や顔写真、自宅の住所や家族の個人情報までもがさらされ、当該校や教育委員会、警察だけでなく、文科省まで巻き込んだ大きな社会問題となっています。

過去にも、寿司チェーン店での迷惑行為やアルバイト先での不適切動画(いわゆる「バイトテロ」)がSNSで拡散し社会問題となりました。このような事案が度々繰り返されるのは、若者(中高生等)がニュース等の報道を見ない(知らない)ために、事案から学んでいないことが要因の一つといわれます。

子どもたちを被害者にも加害者にもしないためには、我々大人が子どもたちに事の顛末や重大さ(このような行為がどのような顛末をたどるのか、どのような制裁を受けるのか等)を丁寧に教えること、そして一緒に考えることがとても大切です。身近な大人が話題にすることで子どもは「自分事」として捉えやすくなります。学校では人権教育や情報モラル教育などに取り組んでおりますが、ご家庭でも話題にいただければ幸いです。▼参考に、過去に起きた【事例】を以下にまとめます。

### 【事例1】暴力行為動画

○期日・場所：2023年頃から全国各地の中学校・高校で複数発生

○概要 要：生徒が授業中や休み時間に暴力を振るう様子をスマホで撮影し、SNSに投稿。動画が拡散し、ニュース報道で学校名が公表される。

○加害者の処遇：停学・退学処分、進路に重大影響。加害生徒はもちろん、撮影・投稿した生徒も処分対象。

○社会的影響：学校の信用失墜、保護者・地域への説明対応、教育委員会・警察が介入。

### 【事例2】寿司チェーン店での迷惑行為

○期日・場所：2023年頃から全国の回転寿司チェーン店で複数発生

○概要 要：客が寿司に唾をつける、醤油差しを舐めるなどの行為を撮影しSNSに投稿。動画が炎上し、企業のブランドイメージが大きく損なわれる。

○加害者の処遇：損害賠償請求(数百万～数千万円)、刑事告訴、本人は退学・就職困難。

○社会的影響：企業は店舗閉鎖や衛生対策強化、株価下落、社会全体で「回転寿司離れ」現象。

### 【事例3】バイトテロ

○期日・場所：2013年頃から全国の飲食店・コンビニなどで複数発生

○概要 要：アルバイト店員が冷蔵庫に入る、食材を不衛生に扱うなどの様子を撮影しSNSに投稿。動画が拡散し、企業の信用が失墜する。

○加害者の処遇：損害賠償請求(数百万～数千万円)、解雇、進学・就職に深刻な影響。

○社会的影響：店舗閉鎖、企業の売上減少、アルバイト採用の厳格化。

**校長室より** 「冗談のつもり…」「知らなかった…」では済まされない！

**\*知っておきましょう** ➡

投稿した動画等は「証拠」になります。たとえ冗談でも犯罪に問われます。(刑事罰や損害賠償の対象)

また、他人の投稿に対する「いいね」や「コメント」にも責任を問われることがあります。

暴力に限らず、仲間同士のノリでのいたずら、その撮影も全て犯罪です。(民法・教育基本法・子ども基本法等で規定)